



市場小だより



学校教育目標「健康で明るく 強く正しく 共に生きぬく子の育成」 3月特別号

令和2年3月11日 小野市立市場小学校

学校評価アンケートから

学校長 岡嶋晃司

昨年12月、保護者の皆様には「市場小をよくするためのアンケート」にご協力いただき、たいへんありがとうございました。ここに集計結果をお知らせするとともに、皆様のご意見等を参考に、来年度の活動に生かしてまいります。

右の令和元年度児童・保護者・職員アンケート結果から、児童・保護者・教師の意識がほぼ同じ割合であり、ほとんどの項目で十分評価できることが分かりました。しかしながら、学校は、少ない割合の中にこそ児童・保護者の困り感を受け止める姿勢が必要です。

【評価が高い項目について】

○①の楽しい学校生活は学校教育目標の健康で明るくに直結する心豊かな人づくりの最重要事項です。三者ともが高い評価となっています。これからも笑顔が絶えない学校を目指して教職員一同頑張っていきます。しかしながら、児童(7.7%)・保護者(5.0%)の困り感についても真摯に受けとめ、その要因を含め、全教職員でその解消に向けて取り組みます。

○学習活動にかかわる項目では、⑤のわかる授業、⑥のI C T活用、⑧の体験学習、⑪の基礎学力など、高い評価となりました。学習活動の基本は普通の授業です。これからも児童のつまずきの解消や系統性を重視した指導の充実を図るとともに、新しい時代に対応した授業改革を積極的に進めていきます。

○小野南中学校区の⑦の小中一貫教育については三者とも非常に高い評価となりました。

○⑫の人権教育⑭の安全教育、⑮の問題行動への対応についても高い評価です。地域・保護者の見守り等の支えにより、本年度は交通事故や問題行動はほとんどありませんでした。

【さらなる取組の必要な項目】

●③のあいさつについては、児童が高評価96.8%(30年度95.5%)に対して、保護者89.6%(30年度87.4%)・教職員75.0%(30年度70.8%)と、以前、子どもと大人との認識にずれがあります。単に形式的なあいさつではなく、児童、保護者(家庭)、教職員による九年間を見通した心のこもったあいさつ運動への展開を引き続き図っていきます。

●⑯の情報機器の使用の約束・徹底については、児童が89.6%(30年度88.6%)に対して、保護者94.2%(30年度92.2%) 教職員95.5%(30年度100%)と改善の方向にあります。道徳の授業、P T A主催の講演会、4年連続のP T A役員研修のワークショップ等の成果が出ています。しかし、「夜が遅く、朝起きることができない。」「ゲームをしないといらいらする。」「読書や外遊びができない。」等、児童に深刻な影響が出ていることが危惧されます。

令和元年度 児童・保護者・職員アンケート結果

〈A: そう思う B: ややそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない〉

NO	項目	対象	質問内容	評価の3者比較										% (A+B)
				0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	
1	楽しい学校	児	学校へ行くのは楽しい。											92.3
		保	子どもは、学校へ行くのを楽しいと感じている。											95.0
		職	子ども達は、学校へ行くのを楽しみにしている。											100.0
2	基本的生活習慣	児	「早寝・早起き・あさごはん」ができている。											90.2
		保	「早寝・早起き・あさごはん」の習慣が身に付いている。											86.7
		職	生活習慣が身に付きよく守っている。											91.7
3	あいさつ	児	あいさつをよくしている。											96.8
		保	子どもは、よく挨拶をしている。											89.6
		職	子ども達は、よく挨拶をしている。											75.0
4	学習意欲	児	進んで発表したり書いたりし、意欲的に学習している。											88.6
		保	学校は、授業内容に応じた学習方法の工夫が見られる。											90.9
		職	子ども達が意欲的に学べる工夫を授業で行っている。											91.7
5	わかる授業	児	学習内容は理解できていますか。											93.1
		保	学校は、分かりやすい授業を工夫している。											93.9
		職	ねらいを明確にした授業を工夫している。											100.0
6	ICT活用	児	I C Tを使った授業は、わかりやすいですか。											92.4
		保	学校は、I C Tを活用して指導を工夫している。											95.3
		職	効果的なI C Tの活用を行っている。											91.7
7	水辺の楽校 外国語活動 小中一貫	児	外国語活動や小中一貫・少々連携の交流活動は楽しい。											90.7
		保	水辺の楽校、外国語活動、小中一貫の交流活動を通し、子どもたちの考え方が広がっている。											96.9
		職	外国語活動を通してコミュニケーション力、国際理解教育を育んでいる。											100.0
8	体験学習	児	体験を通した学び（水辺の学校・行事等）は楽しい。											97.9
		保	学校は、行事や体験を通して興味関心を高めている。											97.2
		職	人材活用や学習形態を工夫して、子どもの学習意欲を高めている。											100.0
9	個の指導	児	わからないことや困った時は、先生に相談していますか。											86.4
		保	学校は、悩みに対して適切に相談に応じている。											92.2
		職	児童理解に努め、児童や保護者の相談に対応している。											100.0
10	家庭学習	児	宿題や家庭学習は、進んでできている。											93.6
		保	子どもは、進んで家庭学習に取り組んでいる。											85.1
		職	子どもが目標を持って家庭学習をするように手だてを講じている。											95.7
11	基礎学力	児	おの検定(漢字・計算・なわとび)の練習をしている。											87.7
		保	学校は、学力の定着に向けて取り組んでいる。											98.1
		職	授業改善を通して、基礎基本の定着を図っている。											95.7
12	人権教育	児	友達と仲良くし、人にやさしくし思いやりのある行動をしている。											95.5
		保	学校は、命を大切に、いじめを許さない教育活動に取り組んでいる。											93.0
		職	いじめのない学級づくりや仲間づくりに取り組んでいる。											100.0
13	情報発信 家庭との連携	児	学校であったことを家庭で話している。											87.2
		保	学校は、情報発信や家庭との連携に努めている。											95.3
		職	家庭との連絡や意思疎通に努めている。											100.0
14	安全教育	児	交通ルールやきまりを守り、安全な登下校・生活ができていますか。											97.3
		保	子どもは、交通ルールや決まりなどを守って安全な生活ができています。											94.7
		職	安全な登下校指導、事故防止等に努めている。											100.0
15	問題行動 への対応	児	先生や友達のことをすなおに聞いている。											95.4
		保	学校は、子ども達の間違った行動をきちんと指導している。											94.8
		職	発生した問題への対応、指導を適切に行っている。											100.0
16	情報機器の 使用	児	テレビ、ゲームやインターネット等の使用は、家の人と約束を決めている。											89.6
		保	テレビ、ゲームやインターネット等の使用は、家庭で約束を決めている。											94.2
		職	テレビ、ゲームやインターネット等の使用は、家庭と連携した指導をしている。											95.5

☆保護者の皆様から貴重なご意見もいただきました。本当にありがとうございました。

オープンスクールで、子どもたちが学校生活を楽しく送っているのが見られて良かったです。先生方のいろいろな工夫が授業や教室環境を見ていて伝わってきました。

楽しい学校生活については、アンケート結果①でも高い評価をいただきました。しかし、児童の7.7%、保護者の5.0%が「あまりそう思わない・そう思わない。」と回答しており、私たち教職員には、児童の発達段階や心情に寄り添ったかかわり方、分かりやすく魅力のある授業づくりが、なおいっそう、求められます。同時に「運動会」「音楽会」「マラソン大会」「自然学校」等の教育活動等を実施する中で、「小さな壁」を克服する精神力を鍛えていくことも

授業の中で、自らが作った課題に対して、子どもたちが前向きに取り組んでいる姿に感動しました。毎日の先生方の子どもに視点を充てた指導に感謝します。

本校の教育方針の一つである、「自立」につながる視点です。これからの変化の激しい社会の中でも、感性を豊かに働かせながら、よりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに、新たな問題の発見・解決につなげていくことができる児童を目指していきます。

授業中、子どもたちが、うまく発表できない子がいたら、周りの友達が励ましたり、助け舟を出してあげたりする姿がよく見られ、温かい気持ちになりました。

本校の教育方針の一つである「共生」につながる視点です。子どもたちの多様性を認め、尊重していくことが求められるこれからの時代において、「笑顔、つながる・考える授業」は本校の基本です。「日本語が得意でない児童」「苦手な部分を持つ児童」等、それぞれの子どもの困り感に寄り添った教育を児童と共に作り上げていきます。

校内、ゴミ一つ落ちていませんでした。子どもたちはしっかり、掃除をしているのですね。音楽や外国語活動(英語)、家庭科など、普段見られない授業を見てよかったです。

教育には「不易」と「流行」があります。「美しい学校・掃除」は、小中一貫教育9年間の大切な、どの時代にも通用する指針です。一方、本校では、3年生以上は、日本語よりも英語主導による授業が既に定着化しており、市内外から高く評価されています。

水辺の楽校などの学校行事や地域の皆様のかかわりから、学校が以前より身近に感じられるようになりました。これからも「地域の子」として、育って行ってほしいです。

市場小の校歌の二番に「土と人にと恵まれて・・・」という一節があります。毎日の登下校の見守り隊、環境学習や昔遊びでのゲストティチャー、スポーツ少年団やコミセンの寺子屋等、子どもたちは常に地域の人の温かさに支えられています。きっと、将来、このかかわりを通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となってくれることでしょう。

他市の小学校では授業でタブレット(教師用)を用いて子どもたちの調べ学習に活用するのを見かけるのですが、市場小ではあまり聞かないのはなぜでしょうか。

あらゆるものがインターネットにつながり、分析され、使われる時代が到来しています。I C T環境は今後、必須の教育環境となります。市場小学校でも、明石高等専門学校や企業と連携してプログラミング教育を教師の研修も含め、進めているところです。

マラソン大会のコースは、前の方がよかったです。狭いところが多くぶつかって怪我をすることが心配です。なぜ変更になったのですか。

ご指摘のように前のコースは、落ち葉の絨毯を走るよいコースでありました。しかし、課題もありました。①コース上の安全管理(人が少なく、学校から離れすぎていて、万が一の対応がしにくい)②道路(車の通行が多い)を長時間とめおくことが難しい。③体力面からの距離の見直し④コースの管理(土いれ、石とりなど)が行いにくい。※職員会議で話し合い校

図書室を充実させてほしいです。(①子どもが居やすい。②冊数を増やす③破れた本の補修④コーティング等。

ご指摘のように読書環境の充実は、児童の読書意欲を高めるためにも大切なことです。①③④については、10月に小野市立図書館の司書職員のご協力をいただき、図書室の全面整理をしました。また、②についてはO S L(小野市立図書館の学級貸し出し)等を利用しています。

ご家庭でも、休日の読書活動や新聞記事への挑戦等ご協力をお願いします。

学校で歯磨きを毎日、食後にできるようにしてほしい。

昼食後の歯磨きについては、昼休み時間の確保や手洗い場数の関係で牛乳パックを使用してのうがいを毎日しています。但し、歯磨き週間は学年ごとに丁寧な歯磨き指導をしています。

【学校評議委員会からのご提言】

◎学校評価アンケートでは全項目で児童・保護者・教職員とも肯定的な回答が見られうれしく思います。しかし、たとえ数%でも悩みを持つ児童・保護者の困り感を受け止め、課題に向けて真摯に取り組んでください。特に、あいさつについては、市場小の重点項目であるが、子どもと、保護者、教職員でずれがある。学校はこのずれをていねいに説明してほしい。

◎「水辺の楽校」や教室のゲストティチャー等、地域の知恵や力を取り入れながら子どもたちを育てていく環境を作ることが求められています。ハートフルウオーキングでは130名の児童や保護者が参加してくれました。学校が地域社会をリードして、学校が地域社会を支えていく、相互に成長していくという形の在り方が今求められています。

◎人口減少、少子高齢化、グローバル化、新型コロナ感染症対策、情報化への対応等、将来の変化を予測することが困難な時代に、私たちも学校の応援団として協働・参画していきます。